

新型「モンキー125」はタイの二輪開発部門であるホンダ R&D サウスイーストアジアカンパニー・リミテッドで開発、同じくタイのタイホンダマニュファクチャリングカンパニー・リミテッドが生産を担当しています。

「モンキー125」のねらいは

“アソビの達人”

モンキーの楽しさをスケールアップし、アソビゴコロで自分らしさを演出

日本が生み育てたすばらしい二輪文化を、グローバルに拡大したいという想いが込められています。そしてこの文化を継承拡大するレジャーバイクとして開発コンセプトを具現化するべく、外観、走り、装備、全てにわたり開発してきました。

■「モンキー125」の背景と開発のねらい

“レジャー系”

- Honda二輪の、親しみやすく、遊び心にあふれた若々しいイメージに大きく貢献
 - ・乗る人のライディングスキルを過度に問わない、扱いやすい特性と取り回しやすいサイズ感
 - ・オーナーだけでなく、二輪に乗らない人にも笑顔で振り向いてもらえる親しみやすいデザイン
 - ・クラッチ、ギアチェンジ、スロットルワーク、ブレーキなど、各操作系がより大型のモーターサイクル同様に楽しめる
- “アソビゴコロ”: お互いの違いを楽しみ合う、親しみやすく奥深いモーターサイクルという趣味
 - ➡ Honda二輪がこれからも受け継ぐべき大きな価値

モンキー 開発のねらい

“アソビ”の達人

「モンキー」の楽しさをスケールアップし、“アソビゴコロ”で自分らしさを演出
 スタイリング: コンパクトでかわいい「モンキー・スタイル」をブラッシュアップ
 走り: 世界の都市交通環境と調和して「トコトコ走れる」フレンドリーな運動性能/動力性能
 装備: 最新装備に“アソビゴコロ”をプラス

日本で生まれた二輪文化をグローバルに拡大



■モンキー125